

お客様本位の業務運営を実現するための方針

フランクリン・テンプレトン・ジャパン株式会社

2024年6月27日改訂

フランクリン・テンプレトン・ジャパン株式会社（以下、「当社」）は、資産運用会社としてグローバルにビジネスを展開するフランクリン・テンプレトン（以下「当グループ」）の日本法人です。

当社は、当グループが長期にわたりグローバルな資産運用業務で培った高度な専門性と卓越した運用能力を活かし、お客様の信頼できる長期的なパートナーとして、日本の投資家の皆様により良い投資成果の実現を長期的に支援することに努めています。

当グループは、企業として重視する本質的な価値観として以下の4項目を定め、お客様本位の業務運営を徹底しています。

- Put Client First（お客様を最優先する）
- Build Relationships（長く続く信頼関係を築く）
- Achieve Quality Result（良質の結果を生み出す）
- Work with Integrity（誠実さを持って働く）

当社は、これらの価値観をもとに、日本における資産運用会社として、お客様に対して誠実に業務を行い、お客様の利益を最優先する業務運営に努めております。また、フィデューシャリー・デューティーの取組み推進とお客様第一の業務運営の徹底を目指し、当社は、金融庁が2017年3月30日に公表、2021年1月15日に改訂した「顧客本位の業務運営に関する原則」のすべての原則を採択し、以下の通り「お客様本位の業務運営を実現するための方針」を定め公表しました。

方針1 お客様本位の業務運営を実現するための方針の策定・公表（金融庁原則1に対応）

当社は、「お客様本位の業務運営を実現するための方針」を定め、これらの方針に基づきお客様本位の業務運営を実施するとともに、その取組状況について定期的に公表します。また、これらの方針は、より良い業務運営の実現のため、定期的に見直しを行います。

方針2 お客様の最善の利益の追求（金融庁原則2及び3に対応）

当社は、当グループが企業として重視する価値観の一つである「Put Client First」に基づき、お客様の最善の利益を常に最優先に考え、誠実・公正に業務を行い、商品やサービスが常に透明性と公正性を保つよう努めます。

また、お客様の利益を保護することを目的として、利益相反の適切な管理を徹底し、利益相反が発生しうる状況を特定し、未然に防止するための管理体制を整備し、利益相反管理方針を定めて公表します。

方針3 お客様に分かりやすい情報提供（金融庁原則4及び5に対応）

当社は、投資信託等の金融商品・サービスに関する重要な情報（投資戦略・方針、商品特性、リスク、申込手数料や信託報酬等お客様にご負担頂くこととなる手数料、その他の費用がど

のようなサービスの対価に関するものか等) について、明確かつ誤解を招くことのない誠実な内容の情報提供を行うことに努めます。お客様にご理解いただけるよう分かりやすく丁寧に説明するよう努めます。

また、お客様にとって有益な情報をタイムリーに提供するため、お客様のニーズやマーケットの変化を的確に捉え、多様なチャネルを通じて当社グループの専門家によるレポート等の積極的な情報提供に努めます。

方針4 お客様にふさわしい商品の開発・提供（金融庁原則 6 に対応）

当社は、当グループのグローバル・ネットワーク及び運用能力を活用し、お客様のニーズに応える運用商品の組成と提供に努めます。

また、新たに提供を開始する商品については、その商品特性及びリスクを踏まえ、いかなるお客様を想定して組成した商品であるかを販売会社とも共有し、お客様の資産状況、取引経験、知識及び取引目的・ニーズにふさわしい商品の販売・勧誘が行われるよう働きかけます。

方針5 ガバナンス体制及びコンプライアンス意識の強化（金融庁原則 7 に対応）

当社は、お客様本位の業務運営、利益相反管理等のフィデューシャリー・デューティ取組み推進のため、必要な方針・規程、社内委員会等を整備します。

また、ガバナンス体制・内部統制の強化を行うと共に、上記各原則について役職員にこれを周知し、定期的な社内研修等の役職員向け社内教育を通じて、当社のお客様の利益を最優先とする企業文化及びコンプライアンス意識をより強固なものとするよう努めます。